

ユニバーサルデザインに関するアンケート

【はじめに】

会津若松市では、平成 19 年に「会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」を策定し、現在「第3回会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、様々な取組を行っております。

この度、市政モニターの皆様を対象にユニバーサルデザインに関するアンケートを実施し、日ごろ感じていることやご意見・ご提案等をうかがい、今後の取組の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

なお、アンケート結果につきましては、個人が特定できない形で市のホームページで公表するほか、必要に応じて市内事業者への情報提供等を行う場合がありますので、ご了承ください。

※回答は別紙の回答用紙に記載してください。



アンケートへのご協力、
よろしく申し上げます。

会津若松市ユニバーサル
デザインキャラクター
「ゆにぼくん」

1. あなたご自身について伺います。

問1：あなたの氏名をご記入ください。

問2：あなたもしくはあなたの同居者が1～5のいずれに該当するか教えてください。（あてはまるものをすべて選んでください。）

1. 自分もしくは同居者が65歳以上である
2. 自分もしくは同居者が妊娠中である
3. 自分もしくは同居者が要介護者または障がい者である
4. 自分もしくは同居者が外国出身である
5. 同居者に未就学の児童がいる
6. いずれにも該当しない

問3：あなたの外出頻度を教えてください。 (1つ選んでください。)

1. 毎日
2. 週3~5日
3. 週1~2日
4. 週1日未満

問4：あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通手段を教えてください。 (1つ選んでください。)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自家用車
4. バイク
5. バス
6. 電車
7. タクシー
8. その他

問4-1：問4で回答した手段は、主にどのような目的で利用しているか教えてください。 (複数回答可)

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 余暇活動や趣味活動
6. その他

問5：情報収集の手段として携帯電話やスマートフォンなどの情報機器を利用していますか。 あてはまるものを1つ選んでください。

1. 利用している → 問5-1へ
 2. 利用していないが、今後利用したいと考えている
 3. 利用していないし、今後も利用するつもりはない
- } 問5-2へ

問5-1：問5で「1. 利用している」と回答した方に伺います。現在、情報収集手段として利用しているものを教えてください。
(複数回答可)

1. 携帯電話
2. スマートフォン
3. パソコン
4. タブレット端末

2. ユニバーサルデザインについて伺います

問6：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている
2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
4. 言葉自体知らない → 問7へ

} 問6-1へ

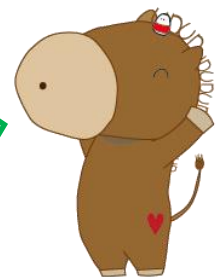
【「ユニバーサルデザイン」について】

「ユニバーサルデザイン（UD）」は、はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安心・安全で利用しやすいように、建物、製品、サービスなどを計画、設計する考え方です。そのため、高齢者や障がいのある人など特定の人に対し、すでに存在している障壁（バリア）等を後から取り除くといった対応ではなく、はじめからすべての人が生活・活動しやすい環境づくりを行うものです。また、今より少しでも利用しやすいものにするを目指して、見直し、改善に絶えず取り組んでいくものです。

【ユニバーサルデザインの例】

- 絵や記号を使った案内表示にする（トイレの男性／女性マーク など）
- 安全で利用しやすい施設にする（スロープ、手すり、段差のないフロア など）
- 情報を誰にでも分かりやすく、迅速に伝える（文字を大きくする、ホームページの読み上げ対応 など）

市では「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、ユニバーサルデザインの取組を推進しています。詳しくは「ユニバーサルデザイントップページ」からご覧いただけます。



○ユニバーサルデザイントップページ

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2008101400024/>



問6-1：問6で「1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」、「2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」、「3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. テレビ、ラジオ
2. 本、新聞、雑誌
3. インターネット
4. 行政広報(市政だより、市のホームページなど)
5. 講演会・シンポジウム
6. 企業の展示
7. 学校の授業
8. その他 (具体的に: _____)

問6-2：あなたは「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」の違いについて知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. それぞれの言葉を知っているが、違いまでは知らない
4. 言葉自体知らない

【バリアフリーとは】
 高齢者や障がいのある方といった特定の人を対象として、快適に生活できるように後から障壁（バリア）をなくすことで、手すりのない階段等に手すりを設置したり、出入口にスロープを設置するなどがバリアフリーの例となります。

【ユニバーサルデザインとは】
 年齢、性別、言語、そして障がいの有無などの違いにかかわらず、はじめからすべての人が生活・活動しやすい環境づくりを行うものです。バリアフリーに比べると対象者が広くなります。

<それぞれの対象のイメージ>

子ども	成人	高齢者	要介護者 障がい者

問7：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心をお持ちですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. 少しは関心がある
3. 関心がない
4. わからない

問8：あなたの日常生活の中で以下のそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組がどの程度浸透していると思いますか。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	どちらともいえない	わからない
① 意識啓発(意識づくり)の取組について (思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発の取組など)	1	2	3	4	5	6
② 地域・社会環境について (地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり)	1	2	3	4	5	6
③ 情報の提供について (様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ)	1	2	3	4	5	6
④ サービスの提供について (手続きの簡素化、気配りある対応など)	1	2	3	4	5	6
⑤ まちづくりについて (施設設備、道路、公園、公共交通など)	1	2	3	4	5	6
⑥ もの(製品)づくりについて (誰もが使いやすい製品の開発、普及など)	1	2	3	4	5	6
⑦ 全般的な認知度について(「ユニバーサルデザイン」の言葉や意味)	1	2	3	4	5	6

問9：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。 (回答は3つまで)
また、回答いただいた項目において、どのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。具体的に記入してください。

【主にハード面】

1. 案内看板や誘導サイン
2. 公共建築物
3. 道路
4. 駐車場、駐輪場
5. 公園、広場
6. バス、鉄道などの公共交通関係
7. 商業施設、商店街
8. 旅館、ホテル
9. ものづくり、製品開発

【主にソフト面】

10. サービスの提供
11. 情報の提供
12. 人々の意識やこころのあり方
13. 教育、学習環境
14. 防災

【その他】

15. その他

3. こころのユニバーサルデザインについて伺います

【こころのユニバーサルデザインとは】

「第3次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」では、すべての人を大切に思い、相手を理解し、相手の立場に立った「思いやりの気持ち」や「気づかい」といった「こころのユニバーサルデザイン」がユニバーサルデザインの取組の基盤であるとしています。思いやりの心、やさしい気持ちをもって、周りの困っている人に気づき、心を動かし、自分にできるところから行動に移していくことで、誰もが安心して、心豊かに暮らすことのできる温かい社会になっていきます。

【こころのユニバーサルデザインの一例】

- みんなで協力し合い、助け合おうとすること
- 他者の困っていることや危険なことなどに気づき対応しようとする
- 相手の立場や状況を理解し、自分のこととして共感しようとする



いくら施設や設備が使いやすくても、思いやりの心や周りの人への気づかいが欠けているとつかいにくいものになってしまうこともあります。

また、ハードやソフトで不足する部分も多様性を認め合う心や互いを理解し、気づかう心で補うことができます。

問10：あなたは、外出の際、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしますか。 あてはまるものを1つ選んでください。

1. 常に手助けをしている
2. できるだけ手助けをしている
3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移すことができない
4. 手助けしたいとは思わない

問11：こうした困っている状況の方への声のかけかたや手助けの仕方を知っていますか。 あてはまるものを1つ選んでください。

1. よく知っている
2. 少しだけ知っている
3. 知らない
4. 相手の希望を考えずに手助けしていた

問 12: あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 施行されていることも、内容も知っている
2. 施行されていることは知っているが、内容は知らない
3. 施行されたことも内容も知らない

【障害者差別解消法とは】

正式名は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」すべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律で、平成 28 年 4 月 1 日に施行されました。この法律では、障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の不提供の禁止が求められています。

詳しくは市のホームページでご確認ください



問 13: あなたは、外出の際、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。(または、したいと思っていますか) あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 常に手助けをしている | } 問 15 へ |
| 2. できるだけ手助けをしている | |
| 3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移すことができない | } 問 14 へ |
| 4. 手助けしたいとは思わない | |

問 14: 問 13 で「3. あまり手助けをしたいと思わない」、「4. 手助けしたいとは思わない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 言葉が通じない
2. 気恥ずかしい
3. どう声かけしていいかわからない
4. その他 (具体的に:)

問 15:「こころのユニバーサルデザイン」では、相手を理解し、認め合い、共感しようとする意識や他者の困っていることなどに気づき対応しようとする意識が大切です。こうした視点から、「こころのユニバーサルデザイン」を進めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 外国の文化や障がい、性自認(※1)や性的指向(※2)により困難な状況に置かれている方(性的少数者(LGBT と称されることが多い))などについて学ぶ機会を設けること
2. 外国の方や障がいのある人、高齢者などに対する対応やサポートを学ぶ機会を設けること
3. 学校教育などでこころのユニバーサルデザインを学ぶ機会を増やすこと
4. 外国の方や障がいのある人、高齢者などとの交流の機会を増やすこと
5. 外国の方や障がいのある人、高齢者などをサポートするボランティアを養成すること
6. 文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと

※1 性自認 …自分がどの性別であるかの認識。

※2 性的指向…性的な関心・興味や恋愛感情の方向性。

4. その他

問 16:あなたが日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた設備や商品などを利用した経験はありますか。(シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など)

1. ある →問 16-1 へ
2. ない →問 17 へ

問 16-1:特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

問 17:店舗やさまざまな施設において、あなたが他の人に紹介したいと感じたユニバーサルデザイン(こころのユニバーサルデザイン含む)があれば教えてください。

問 18:その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。